

ベッドサイド実践講習会 各講義の内容（予定）

1. 看護職から見た患者心理と家族とのコミュニケーション

（山口県立総合医療センター 看護師 山本知美先生）

内容

1. 医療はサービス業であるため、「患者満足」を常に中心において考える
2. 患者は病気になると（病院にくると）誰しも「不安」になる
3. 「不安」を踏まえて適切なコミュニケーションをとることで信頼関係の構築ができる
4. コミュニケーションの基本（相手に与える印象・双方向コミュニケーション）

2. 知っておくべき患者移送技術（済生会下関総合病院 理学療法士 亀井昌子先生）

内容

1. 移送の目的は「安全」「安楽」に「目的の場所まで移動する」こと
2. 「安全」「安楽」は、患者だけでなく医療者側も含めて考えること
3. 移送の適応者は、「動けない人」だけではなく「治療上動いてはいけない人」もいる
4. ボディメカニクスについて：患者と医療者の安全・安楽のために
5. 車椅子とストレッチャーの各部名称とそれぞれの注意点
6. 車椅子とストレッチャーへの移動方法と注意点
7. 移送（ベッド搬送を含む）全体に関する注意点
*車椅子、ストレッチャーによる移送実習も行います

3. 知っておくべきベッドサイド機器管理～生体情報モニター、輸液・シリンジポンプ、除細動器～

（医療法人社団水生会 柴田病院 臨床工学士 門田明正先生）

内容

1. 輸液ポンプ・シリンジポンプ
（使用目的と用途、セッティングに仕方、代表的なアラームの種類とその対処法）
2. 除細動器
（使用目的・用途、使用時の一般的な流れ、使用時の注意点）
3. 生体情報モニター
（使用目的と代表的な監視項目、簡単な使用方法）
4. パルスオキシメータ
（使用目的と簡単な原理、測定値に影響を及ぼす要因）
*上記機器の操作実習も行います

4. 知っておくべき薬理

（総合病院山口赤十字病院 薬剤師 尼崎正路先生）

内容

1. 薬に関する基礎知識
2. 医薬品に関する情報
3. 薬と検査値
4. 抗生剤の使い方